

図書館の職員さんに聞いてみよう!

# 本のはなし

話題の  
新刊本!



**明智光秀の足跡をたどる旅**  
～歴史紀行ガイド～  
著：「明智光秀の足跡をたどる旅」制作委員会  
出版：東京ニュース通信社  
発売：講談社

大河ドラマ「麒麟がくる」で注目される戦国武将 明智光秀。謎の部分も多い幼少期を含め、岐阜・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫ほかの光秀ゆかりの地を訪ね、その魅力を紹介する。データ：2019年10月現在。(大宇陀図書館所蔵)



**桃太郎は盗人なのか?**  
～「桃太郎」から考える鬼の正体～  
著：倉持よつば  
出版：新日本出版社

桃太郎盗人説の真偽を確かめるべく、全国の桃太郎を読み比べ。江戸時代の文献にまで遡り、各時代の桃太郎像を炙り出す。第22回「図書館を使った調べる学習コンクール」文部科学大臣賞を受賞した小学5年生の作品を単行本化。(大宇陀図書館所蔵)

## 図書館からの まめ知識

Vol.72

3月といえば・・・“旅立ちの季節”  
園所、学校、職場などでのたくさんの思い出と希望を胸に、新しいステージへと歩んでいく日が近づいてくる旬。  
新しいステージでは、慣れないことで日々忙しくなることと思います。そんな時こそ読書をして、頭と心をリフレッシュしましょう。  
元NHKアナウンサーの鈴木健二さんは読書について「読書は頭のためだけでなく、良い人間になるための作業である。読む努力が想像力を高め、他者を理解するのに役立つ」と話されています。本には、それを書いた作家の考え方や思いが詰まっており、読書を通して様々な知識や考え方に触れることができます。本を読むことで得た知識、経験は自分の財産としてきっと新しいステージで生かされることでしょう。忙しいからといって読書することをあきらめないでくださいね。

おはなし会やその他のお知らせは P27

## 消防団出初式

1月19日

令和2年宇陀市消防団出初式が挙行され、消防団員800人をはじめ来賓多数が出席しました。  
式典では消防活動に功労のあった団員に、市長、団長などから表彰状が贈られ、林出秀行分団長(室生第1分団)が代表として謝辞を述べられました。  
式典後、消防の法被に身を包んだ榛原中学校吹奏楽部の演奏で分列行進や車両行進が行われ、最後に消防車6台よる一斉放水が披露されました。  
団員たちは、市民の生命・財産を守るという決意を新たにしました。



## かぎろひ短歌入賞作品展

1月20日から2月13日までの間、文化会館展示ホールにおいて、第13回かぎろひ短歌入賞作品の展示を行いました。  
これは、昨年の「かぎろひを観る会」にあわせて、市観光協会で募集した短歌の中から選ばれた優秀作品の展示と、「かぎろひ」の歌を詠んだ柿本人麻呂にちなんで、大宇陀にある万葉歌碑や大宇陀の歴史について紹介したものです。  
皆さんには、木板に書かれた入選短歌や、柿本人麻呂の壁画タペストリーなど、古代史の舞台となった大宇陀に思いを馳せながら、楽しんでいただけたと思います。



## うた少年少女バレーボールクラブ 全国大会出場!

1月19日

第17回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会近畿ブロック大会が、大阪府堺市の原池運動公園体育館で行われました。  
奈良県代表のうた少年少女バレーボールクラブ男子チームは、予選リーグを連勝で一位通過。準決勝でもフルセットで勝ち、決勝にコマを進めました。決勝では、1セット目は落としましたが、2セット目を奪い返し3セット目では、廣長キャプテンのサービスエースとエース萬谷選手のブロックなどで逆転。フルセットの激戦を制して見事優勝を飾り、堂々の全国大会出場を決めました。  
全国大会は、3月27日から29日に、岐阜県で行われ、「同クラブは初めての出場ですが、全国で10チームしか出場できない大会に出場できる喜びをかみしめ、支えてくださる人たちに感謝しながら、近畿大会の劇的な優勝の勢いそのままに、全国大会では日本一を目指してがんばります」と意気込みを語られました。



## 市民スポーツ大会開催

1月26日

毎年恒例、市体育協会綱引連盟主催の「新春綱引大会」が総合体育館で開催され、6チームが参加しました。  
この大会は、誰もが気軽にできる綱引きを通して、健康づくりの機会を増やすとともに、参加者同士が親睦を深められるような交流の場づくりを目的として開催されています。結果は次のとおりです。  
【一般の部】 優勝 綱引いちやった  
2位 ウダサイ中学生  
3位 市立病院クラブ  
【小学生の部】 優勝 ウダサイ小学生



## 「人権の花」運動で 室生こども園に感謝状

室生こども園では、人権擁護委員を通じて、令和元年度「人権の花」運動に取り組みました。  
この運動は、次代を担う子どもたちが花を栽培することにより、協力し合う心と花を愛する優しい心を育て、お互いにその人権を尊重し合え、豊かな人権感覚を身につけることを目的としています。  
当園では、5月にいただいたミニひまわりの種を植え、子どもたちが毎日水やりをして世話をし、夏にはかわいい花を咲かせました。その成果が認められ、奈良地方務局より感謝状をいただきました。  
人の痛みがわかる優しい人に育ちますように!

